

# まちづくりの 集い開催



# 市民の力あふれる 躍動のまちづくり に向かっています

## 西栗栖地区

**問** 牧、奥小屋地区にある栗栖池を観光地として有効活用し、牧運動公園奥にテント村を整備してほしい。(自治会)

**答** 観光地としては、条件面から現時点では難しいと考えますが、自然環境を生かした散策や、自然体験等のレクリエーション施設としての位置づけは検討すべきと考えます。

**問** 栗町自治会に防火水槽を設置してほしい。(自治会)

**答** 防火水槽の設置基準や土地の確保などを自治会と協議しながら、計画的に進めたい

と考えています。

**問** 姫新線高速化について増便運行のモデルはどこでしょうか。

1. 播磨科学公園都市の玄関は西栗栖駅だという認識で、山陽本線へのアクセス、コミュニティバスのアクセス、西栗栖駅の整備をしてほしい。(自治会)

**答** モデルは、富山県の高山本線です。

現在、市では姫新線の輸送改善事業と増便運行計画を進めると共に、播磨新宮駅、本竜野駅の駅舎改修を進めています。西栗栖駅も、駅前の防犯灯や駐車場の整備など、現

5月から7月にかけて、市内16地区で「まちづくりの集い」が開催されました。延べ2,857人の参加があり、まちづくりへの貴重な提言をいただきました。今月号から、地区ごとにいただいた提言の一部を紹介していきます。また、すべての提言については、後日市ホームページに掲載します。

地を確認し検討します。さらに、高速ディーゼル化完了後増便の確保が出来るようJRに要望していきます。



▲姫新線

# 市民対話事業



**問** 異年齢保育は2年目を迎えますが、担任と園長の2人では対応出来ない時があります。預かり保育の先生が補助に入ってほしい。(PTA)

**答** 現在、西栗栖幼稚園は園長1人、職員1人、預かり保育1人の3人体制です。突発的な事業等で対応出来ない場合は、教育委員会で対応しますので、ご理解願います。

**問** 平成19年度の回答で、地域の実情に応じた幼稚園・保育園のあり方について、委員会を設置し検討しているとのことですが、その検討事項と内容を教えてほしい。(民生・児童委員)

**答** 市立保育園12園・市立幼稚園19園の問題点や特色、地域の実情や施設の問題と運営

**問** 共働きであっても、幼稚園教育が受けられるように、預かり保育の時間を午後4時までとしてほしい。(PTA)

**答** 現在、預かり保育については、教育委員会と幼稚園が一緒になって、何時がいいかを検討しているところです。今のところは、午後3時まででお願いします。

**問** ため池などの危険箇所へ

## 東栗栖地区

課題を一つずつ拾い出して分析することで、各園の見通しをたてながら、今後、統廃合や業務の一本化などの手法を考えていきます。また、幼保一元化も視野に入れて考えていきます。

**問** 子どもたちが安心して生活できる環境づくりに協力をお願いします。(PTA)

**答** 消防のレッドパトロールや、市職員による青色パトロールなどで地域を巡回するとともに、地域の方と連絡を密にしながら、子どもたちの安全を守っていききたいと考えています。



の立入禁止警告看板の更新をお願いします。(農会長)

**答** 農地整備課又は支所地域整備課へ看板の貸与申請をしていただき、地元自治会で設置をお願いします。

**問** 民生委員児童委員や、自主防災組織の活動を進める中で、要支援を必要とする方などの個人情報を開示出来ないか検討してほしい。(民生・児童委員)

**答** 個人情報保護法、個人情報保護法で、平時から、災害時に援護が必要な方の公開が妥当であるか審議され、情報の公開が適切であれば、所要の手続きを経て、民生委員児童委員や自主防災組織へ名簿を提出します。



レッドパトロール隊

**問** 西山公園の雑木伐採をお願いしたい。(自治会)

**答** 現在、西山公園は都市公園として管理しており、利用者に危険を及ぼすような木々は処分しています。

**問** 小中学校校舎の耐震不足が言われていますが、東栗栖小学校校舎の耐震強度は基準をクリアしていますか。(自治会)

**答** 東栗栖小学校の校舎は、昭和60年3月の建築であり、昭和56年以降の新耐震基準に則しています。

**問** 姫新線千本駅にスロープを設置してほしい。(自治会)

**答** 姫新線の輸送改善事業として、スロープを設置する方向で検討しています。

## 香島地区



**問** 県道上笹・千本停車場線は、その利便性から交通量が多いが、幅員狭小、勾配急坂でカーブミラー等も不足している。早期の改修をお願いしたい。(自治会)

**答** 引き続き、県に対して要望していきます。(県議) 安全確保のためにカーブミラーを今年度設置し、特に危険な所は待避所を検討しています。

**問** 上笹3区内の側溝が4、5年前から継続で整備されているが、2隣保だけが残されている。いつ整備されるかお聞きしたい。(自治会)

**答** 今年度継続事業で計画しています。今秋に着手したい。



**問** 篠首地区では、農業基盤整備と並行して、農地・水・環境保全対策事業とふるさと風景づくり事業に取り組んでいる。景観面と防災面から篠首川の余分な砂利を除去してほしい。(自治会)

**答** 現地を視察し、対応したいと考えます。

**問** 優良農地を守り、放棄田を解消するための、行政の取り組みを教えてください。(自治会)

**答** 基本的には、地域の農地は地域で守るという考えです。その手段としては、農業集落営農や担い手認定者の拡大により、遊休農地や荒廃農地を出さないということだと思います。さらに、市民農園の開設

や都市住民との交流などにより、遊休農地等を地域で活用する取組を実践していただきたい。

**問** 県道新宮宇原線の交通量が増加する中で、下野自治会から下笹鹿子間に照明灯がない。中学生や高校生の通学路でもあるため、照明灯を設置してほしい。(自治会)

**答** 県道新宮宇原線は国土交通省所管の揖保川堤防を利用した兼用道路であり、照明灯の設置は難しい状況です。堤防に沿った電柱の利用も考えられますが、距離的に難しいと考えます。県と市で現地を確認し協議します。

**問** 子育て支援活動のボランティアをしたが、予算消化のために新しい玩具を購入したり、参加者にジュース等を提供するのはいかがでしょうか。今ある玩具を大切に使う事、社会的マナーを守る親を育てる事など、親子で学習できるように事業をより充実したものにすることも大切だと思う。(婦人部)

**答** 新しい玩具は、新しい事を取り入れたり、今後の参考となるよう購入したものです。

▲新香橋



また、修理しながら工夫して使用する姿勢も大切だと考えています。

**問** 平成16年度台風23号の実態をベースに防災マップが作成され、4年経過したが、その後危険箇所はどうなっていますか。(消防団)

**答** 平成18年度に防災マップを作成し、平成19年5月に各戸配付しています。急傾斜地の危険箇所は、県が各箇所の地形を調査し範囲を決めています。危険箇所付近の住宅戸数や地質状況を考慮しながら、崩壊対策事業等を実施しています。

## 新宮地区

**問** 小中一貫教育や中高一貫教育など、たつの市が特色ある教育づくりに邁進できないか、その思いについてお尋ねします。(自治会)

**答** 小中一貫教育や中高一貫教育という形でなく、生徒が地域に向き、地域と一体となることが大切だと考えています。

**問** 新香橋の架け替えについて、市から国・県に要望してほしい。(自治会)

**答** 新香橋は県管理であり、財政的に困難であると聞いているが、市として県に強く要望していきます。

**問** 市民病院に産婦人科を設置してほしい。(婦人部)

**答** 現在、産婦人科設置の可能性を模索していますが、見通しが立っていないのが実情です。一方で、医療の広域化、ネットワーク化を含め検討を進めています。少子化対策の観点から大変重要な課題であると考えています。

**問** 播磨新宮駅の整備に併せて、近くに駐在所が警察官立寄所を設置してほしい。(婦人部)

**答** 播磨新宮駅舎内に交番を設置することは無理ですが、駅舎内の市情報コーナーを警察官立寄所とするよう考えています。



▲播磨新宮駅完成予想図

**問** 安心安全なまちづくりを進めるために、危険箇所や死角になるような箇所を示した防犯マップを作成し、市全域に配付することを提言します。(民生・児童委員)

**答** 子どもの安全マップについては、本年度「地域づくり学校安全対策整備推進事業」で、全市に校区別の防犯マップを作成しています。さらに、自治会、民生児童委員に配付し、市内全域を網羅したいと考えています。

**問** 新宮市街化区域を通る、吉島土地改良区管理の幹線水路が老朽化し、漏水している。浸水対策の雨水幹線事業の早期着工をお願いしたい。(農会長)

**答** 現在、新宮地域の浸水対策事業として、宮内川雨水幹線事業に取り組んでおり、この事業が完了後に検討したい。

**問** 揖保川の新香橋から志んぐ荘の間で、左岸の無堤防箇所を早期に河川改修してほしい。(農会長)

**答** 揖保川の未改修区間について、国土交通省に引き続き要望していきます。

## 越部地区

**問** 県道側面の草刈りを、三世代ふれあい一斉清掃の前に実施してほしい。(自治会)

**答** 市から県に要望します。

**問** 自治会で管理している公園の遊具等の点検方法を教えてください。(自治会)

**答** 点検整備等の相談を受ければ、標準的な点検方法を助言させていただきます。

**問** 婦人会員数が減少しているが、組織の維持を図るため、行政の指導・支援をお願いしたい。(婦人会)

**答** 婦人会の会員減少や組織の縮小に対応するため、婦人会活性化検討委員会から提言

書が、市長及び連合婦人会長に提出されました。市も指導、支援協力させていただきますので、よろしくお願いします。

**問** 適切な窓口対応が得られるよう、市職員は一層の勉強をしていただきたい。(自治会)

**答** 昨年度から職員意識改革セミナーを実施し、市民の皆さんの生きた意見を感じ、それを実行に移すよう意識改革を図っています。

**問** 市のマイクロバスを、交流会や大会などにも使えるようにしてほしい。(老人会)

**答** マイクロバスの使用については、陸運局の許可基準もあり、議会や各種委員会など公務の必要がある場合、市の

主催事業や各種団体が市を代表して大会に参加される場合を原則としていますので、ご理解願います。

なお、他の地域と交流される場合、地域振興事業補助金やコミュニティバスの利用をお願いいたします。

**問** 姫新線に新駅「越部駅」を作ってほしい。(自治会)

**答** 新駅の建設経費は市の全額負担となり、相当な額の経費と事業量が予想され、難しい課題と考えます。

## 御津地区

**問** 昨年まで勉強してきた米作り体験を続けたい。(小学生)

**答** 市では、親子米づくり体験農業を実施しているので参加してください。御津での米づくり体験は、西部営農組合が実施しているので、この機会を利用してください。

**問** リサイクルの普及や、ポイ捨て禁止などゴミを少なくし、海や御津町をきれいにする運動をしてほしい。(小学生)

**答** 三世代交流一斉清掃や海をきれいにする運動に取り組んでいます。ゴミのポイ捨てについては、マナー向上のため広報や看板の設置などで啓発しています。皆さんも何ができるか話し合ってください。

**問** 自治会単位で、小地域福祉活動に取り組んでいるが、活動財源である社会福祉協議会からの補助金が削減されます。市も考慮願います。(民生・児童委員)

**答** 高齢者や障害者が安心して生活できる地域社会づくりのため、連携をとって事業に取り組んでいきたいと思えます。助成については、財政状況を考えると難しいと考えます。



▲コミュニティバス「さくら」

**問** コミュニティバスの利用料金について、障害者の付添者は免除できないか（身体障害者福祉協会）

**答** コミュニティバスは障害者対応バスで、料金は一律一〇〇円と安価です。多額な公費を投じているため減免は考えていません。重度障害者の方は、障害者福祉タクシー助成制度もご利用ください。



**問** 当地域は山崎断層に近く、東南海地震時には津波の被害が想定されます。災害発生時の初動体制とチェック体制をお尋ねします。また、災害時のボランティアの受入体制はどうなっていますか。（ボランティア協会）

**答** 災害発生時の対策は地域防災計画に基づき策定しています。初動体制は、災害対策本部を設置し、それぞれ班編成した職員が、情報収集や救援活動にあたります。ボランティアについては、社会福祉協議会・ボランティア協会と連携・調整を図り、効果的な活動体制の整備に努めています。



**問** 御津小学校の耐震度、耐震検査はどうなっていますか。また、貯水設備があるが、操作方法を教えてください。（PTA）

**答** 御津小学校の耐震検査は来年度実施予定です。強度を確認し、強度不足については補強工事を行います。貯水槽は、災害時の飲料水確保を目的に、30トンの貯水施設を西播磨水道企業団が設置しています。

ます。手動ポンプ、動力ポンプを使って給水します。災害時には、学校関係者及び地域住民の方々と連携を図り有効利用したいと考えています。

**問** 御津中学校のグラウンドは、大雨で表土が田んぼに流れ込むため、人力でグラウンド・側溝の整備をしている。人力では限界がある。力を貸してほしい。（PTA）

**答** 構造的な面で、解消にはかなりの工事が必要である。とりあえず、土砂が流出しないような対策を早急に行います。

**問** 老朽化の激しい御津体育館を、市民の健康づくり、また合宿誘致の拠点施設として、社会教育のみならず、商業・観光にも相乗効果を与える施設整備を提言します。（体育協会）

**答** 改修は財政的に困難ですが、市民の安全安心を考え、緊急性のあるものから事業を実施しています。施設管理・運営面での修繕は、検討し対応したい。

**問** 学校施設の使用料の減免対象者及び減免率について、

スポーツクラブ21は10割から8割減免になったが、格差をつける理由がわからない。再検討をお願いしたい（スポーツクラブ21）。

**答** 学校施設の利用は、原則受益者負担をお願いしています。ただし、自治会は、地域住民全体の福祉向上と振興を図る意義から、またPTAは学校教育に携わっていることから10割減免としています。各種団体については、地域への貢献という面では変わりないですが、地域全体ということではないので、この点で差を設けています。ご理解ください。



**問** 道の駅が建設されるが、食、農・漁業教育を行える場

としてほしい。（生活研究グループ）

**答** 道の駅は、観光・産業・農水産業振興の重要な拠点施設として、直売所や体験学習等の施設が計画されています。施設運営については、検討委員会で提案をしていただいています。地域の自然を活用し、地域の方々の参加を得て、地域活性の拠点として参画してほしいと思います。



## 室津地区

**問** 民生委員を中心とした「ネットの会」では、一人暮らし高齢者も元気で暮らせる地域づくりに取り組んでいます

す。市民が楽しく生活しやすい市となるようお願いいたします。この場で民生委員の役割を説明願います。(民生委員)

**答** 御津地区は、民生委員29人とその協力委員54人が、各担当地区で日夜活動されています。活動内容は、①福祉ニーズのアンテナの役目、②社会福祉制度の周知・相談等の支援、③高齢者等への声掛け・安否確認、④行政・第三者機関との連絡調整・事実確認調査など 地域住民の相談役・行政とのパイプ役として、地域に根ざした社会奉仕の精神と社会福祉の増進に活躍していただいています。



**問** 室津小学校では、放課後児童クラブが実施されている

▲ネットの会訪問事業



い。1校につき10人の入所者が条件と聞いているが、全校生徒24人の室津小学校では、半数以上の希望者がないと開設されません。子どもが生き生きと安全に暮らせる場所を提供してほしい。(主任児童委員)

**問** PTAが、放課後児童クラブ開設についてアンケートを実施したところ、5人の希望者がありました。全校生徒450人の大規模校の10人と、24人に対する5人を考慮し、前向きに検討願います。(小PTA)

**答** 事情は十分に理解するところですが、現在のところ学校規模にかかわらず、10人と実施条件を定めていますので、人数確保をお願いします。

**問** 昨年提言した梅香園へ通じる北側の道路整備について、調査後何の動きもないが、ど

うなっているのか説明してほしい。(老人クラブ)

**答** 今年度から来年度にかけて実施します。

**問** 室津センターの外観だけでも、室津の町並みにあうようにしてほしい。(御津めて室津観光ガイド)

**答** 現在、経費の積算等設計を行っています。

**問** 来年度のJR大型キャンペーンに兵庫県が指定されているが、室津へのアクセスの不便さを指摘されている。観光、住民生活も含めてコミュニティバスの駅への乗り入れを考えてほしい。(御津めて室津観光ガイド)



**答** 7月から地域公共交通会議において、コミュニティバスのルート・時間帯を含め全面見直しを検討しています。

JRの大型観光キャンペーンに伴う観光客の受け入れについては、商工観光課等と検討したい。

**問** 賀茂神社四脚門(表門)の脇にある榎尾社の傷みが激しいので、早急に修復してほしい。(賀茂神社総代)

**答** すでに、担当の文化財課と現場の確認をしております。傷みが激しいので、改修を考えていきます。

「仮称御津道の駅」座談会

「地区代表」

地区の要望として、物を売るだけの道の駅ではなく、漁業者・漁協・高齢者が働ける・携われる施設。体験漁業や観光交流の拠点となるような施設を考えてほしいと思います。

「室津漁業協同組合組合長」

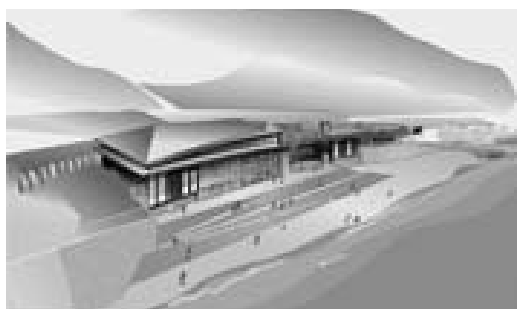
道の駅に組合員は期待しています。恵まれた立地条件、海を生かした観光漁業・体験漁業や魚の販売等に協力したい。

「室津漁業協同組合婦人部会長」

施設が立派すぎて、私たち浜のかあちゃんに何ができるかと考えます。漁獲量が減少している昨今、魚魚市で販売する魚も十分でない状況であり、大型施設で供給できるか心配です。組合長と相談し参画したいと思います。

「地区代表」

体験・観光のメッカとして、南からの発信地としていきたい。



▲仮称御津道の駅完成予想図

写真と質問内容とは、一致していません。他の地区の提言については、広報9月号以降に掲載します。